

第69回北陸地方非常通信協議会表彰を行いました

～非常通信及び災害時における情報伝達の確保に貢献した、2個人、1団体へ～

第69回総会、講演会(中止しました)

コロナウィルス感染拡大防止のため、メールにて審議を行うこととし、集会による総会及び講演会は中止といたしました。メール審議の結果、過半数となる77以上の機関からの賛成を得て、次のとおり年間活動方針等が決定されました。

- 1 会員所属の無線設備の自主点検の呼びかけ、実施、及び結果報告の集約
- 2 非常通信の訓練
- 3 非常通信事務必携の更新、配布
- 4 常任理事の選任

表彰式

今年の表彰式は、総会がメール開催となったことから、令和2年7月10日(金)に北陸総合通信局の局長室において、非常通信及び災害時における情報伝達の確保に貢献した、2個人、1団体に表彰状を授与いたしました。

<個人>

かじ ひろゆき
鍛冶 裕幸
(小松市)

36年余の長きにわたり、国土交通省の防災用無線通信設備の整備・運用・保守等に従事するとともに、非常通信の重要性を深く認識し、訓練や指導に尽力するなど多大な貢献をした。

<個人>

まえだ たけひろ
前田 健浩
(高岡市)

令和元年5月5日、富山県劔岳で発生した登山者2名の滑落事故に際し、アマチュア無線による救助要請を傍受し、いち早く地元警察への通報を行い人命の救助に寄与した。

<団体>

一般財団法人移動無線センター
近畿センター北陸事務所

令和元年に富山県、石川県及び福井県で実施された総合防災訓練において、大規模災害時に有効活用できる通信機器の展示貸出を行い、災害時における通信手段確保の重要性について、周知・啓発に多大な貢献をした。

(五十音順、敬称略)



左から、会長三田一博(北陸総合通信局長)、鍛冶裕幸氏、前田健浩氏、一般財団法人移動無線センター近畿センター北陸事務所長 西沢徹氏

北陸地方非常通信協議会は、北陸3県における非常通信の円滑な運用を図ることを目的に、昭和39年に設置され、北陸管内の国の機関や地方公共団体、放送事業者、電気通信事業者、電力会社など、153の防災関係機関等(令2.6.1現在)により構成されています。

問い合わせ先 北陸地方非常通信協議会 庶務
(北陸総合通信局 無線通信部陸上課)
電話 076-233-4480